



円海山頂上付近。突然緑がひらけた絶景スポット、大岡川を辿り、みなとみらいが見渡せる。撮影：豊田直之

大岡川に、暮らす、働く、学ぶ、遊ぶ、人 ロックバランシングアーティスト・金木伸浩さん

近頃、巷で話題のロックバランシング。古くから世界中で親しまれている、自然石を絶妙のバランスで積み上げるアートです。

神奈川県在住のロックバランシングアーティストの金木さんと「大岡川の源流域でやってみよう」ということになり、真夏の源流域にやってきました。

現場に着いて、石を探します。いくつか石を選んで、早速積み始めた金木さんですが……源流域の石に苦戦されている様子……粘土質で柔らかい石は、肝心なときに石の角が欠けたり、つぶれたりしやすいそうです。

ロックバランシングには、硬くて丸みを帯び、大きさの不揃いな石や、火山の溶岩系の石などが、石と石との接点を探りあてやすいという点では、適しているようです。

しかしながら、石あるところにロックバラン



大岡川源流域での金木さんの作品。積まれた石によって自然の風景が不思議な世界に変貌する様子が面白い。撮影：豊田直之



創作姿勢は、まるで石と対話しているよう。撮影：豊田直之

シングあり。静かな源流域でリラックスして、瞑想のごとくロックバランシングにトライしてみませんか。

金木さんによると、きわめて不安定に見えても、ふっと石が静止して、その重さを感じなくなる点があるのだそうですよ。

石花かねき <http://www.ishihana-kaneki.com>
石花会 <http://ishi-hana.net/>

編集長が行く 源流編 大岡川自転車探訪

氷取沢(ひとりざわ)神社から氷取沢市民の森を経て源流域へ 自転車でどこまで行けるか、とにかく行ってみた 秋の風に癒され、思いがけない発見と感動の連続…… 湧き水を辿る小さな冒険!

氷取沢の自然に包まれた たたずむ村の鎮守 『氷取沢神社』

今回スタート地点の「氷取沢神社」。創建については不明ですが、元は「荒神社」と言い、鎌倉時代、湧き水豊富なこの谷に鍛冶屋が多く暮らし、鍛冶屋に欠かせない火の神、かまどの神が祀られていたのだそうです。

この話を聞くと、『氷取沢』は、元は「火取沢」だったとされる説も納得できます。

しかし一般的には、『氷取沢』の地名は、沢より氷を取って將軍様に献上したことからと伝えられています。

『新編武蔵風土記稿』には、このことに触れ、「火の字今用る所とは異



源流域の森は、バイパスのすぐそばに、鬱蒼と広がる。撮影：豊田直之

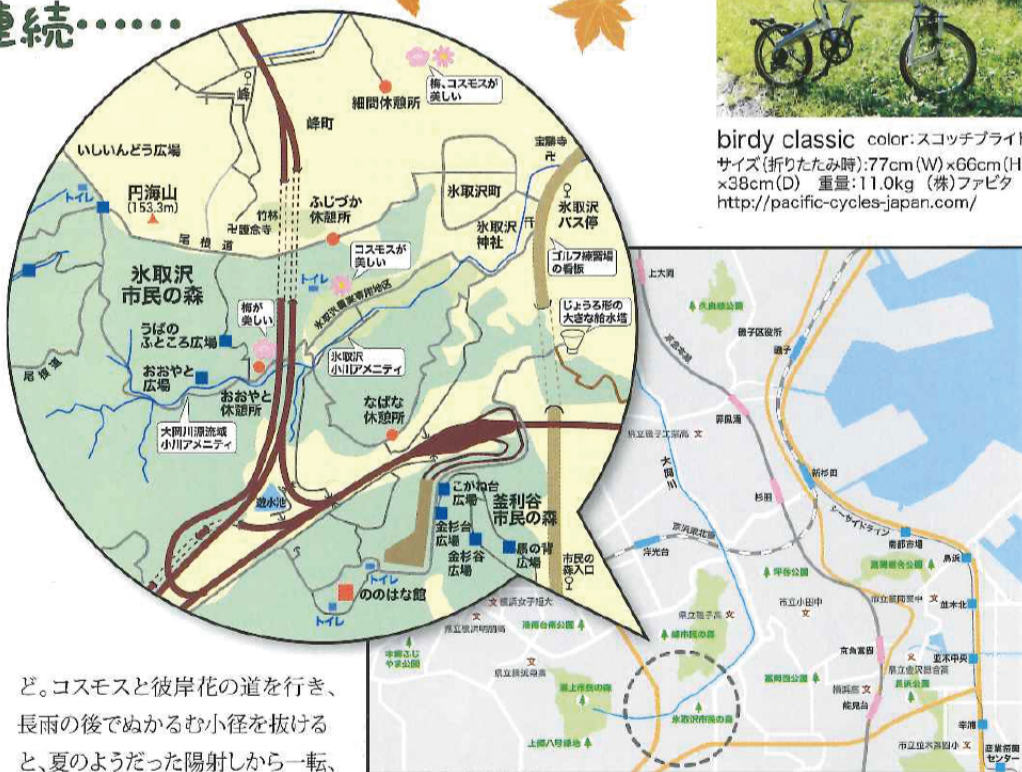
なれど、全くこの地のことにして、昔時火取澤とも記し、且火氷音訓の響いたれば、互に用ひしこともしらる」と記されています。

アイスファイヤーか、どちらが先か? 記者の思いをよそに、いつも静かにたたずむ「氷取沢神社」です。

境内の赤い橋の下を流れるのは、大岡川の上流です。この小川を辿り、氷取沢市民の森を経て源流域を目指します。

源流域も自転車で

氷取沢神社から自転車で5分ほ



も、秋の訪れを感じます。
柔らかに色あせ始めた森で、ドングリを踏み、イガグリを避けながら自転車を押し、湧き水を辿り進みます。

あんなにいたリス達は姿を見せず、代わりに蝶が舞い、源流のせせらぎと虫の鳴き声、ドングリの落ちる音を聞きながら、いつものあずまやでお弁当です。

あいかわらず人影もまばら……これぞ我らが秘密基地! なのです。



birdy classic color: スコッチプライト
サイズ(折りたたみ時): 77cm(W) x 66cm(H) x 38cm(D) 重量: 11.0kg (株)ファビタ
<http://pacific-cycles-japan.com/>



静かな境内を進むと、愛嬌たっぷりの狛犬が迎えてくれる氷取沢神社。撮影：豊田直之

ど。コスモスと彼岸花の道を行き、長雨の後でぬかるむ小径を抜けると、夏のような陽射しから一転、いつもの源流域は、風がひんやり心地よく、すっかり秋の装いです。

新たに発見した絶景スポットから横浜の町を一望。眺めのよさに



彼岸花とコスモスの道を抜けて、源流域へ向かう編集長。

大岡川の『生き物見つけた!』 No.2 ハンミョウ



発見場所: 大岡川源流域・磯子区氷取沢(ひとりざわ)
1~2m飛んだと思ったら、着地して地面をうろろ。そしてまたすぐに飛び立っては着地してうろろ。せわしく動き回る昆虫の正体はハンミョウ。
全長2cmほど。金属光沢のある美しい色をしています。タマシと並び、日本に棲息する最も美しい

昆虫とされています。
きれいな水のある湿地を好んで棲み、そこに棲む昆虫類やミミズ類、カタツムリなどを大きく発達した顎で噛みついて捕食します。和名のハンミョウは、「斑猫」という漢字が当てられています。獲物に飛びかかる姿がヒョウのようなネコ科の動物の姿をイメージさせられるからと考えられています。
このハンミョウが見られる限りは、美しい水がたたえられているという証拠。いつまでもこの昆虫が見られる大岡川に私たちもしていかなければなりません。

昭和27年創業
共栄商事不動産
<http://www.kamioooka.jp>

【本店】横浜市港南区上大岡西1-19-4
Tel 045-842-0054/Fax 045-846-3701

【駅前支店】横浜市港南区上大岡西1-15-1 camio1F
Tel 045-842-0052/Fax 045-846-3702

【大久保支店】横浜市港南区大久保1-11-6
Tel 045-842-0058/Fax 045-842-2206


Yokohama Camera OHNUKI Since 1934

株式会社 **大貫カメラ**
TEL 045-231-0306

〒231-0065 横浜市中区宮川町2-47 大貫ビル1F
<http://www.camera-ohnuki.com>